

6 ラグビーワールドカップ2019京都市開催，関西ワールドマスタースターズゲームズ2021への支援及びスポーツ施設整備の推進

(文部科学省・観光庁・国土交通省)

▶ ラグビーワールドカップ2019公式戦の京都市開催を実現し，日本文化を世界に発信

2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップ2019は，世界中の200を超える国と地域において約40億人が視聴する世界の三大スポーツイベントの一つです。京都市は，日本の精神文化の拠点であり，伝統，文化，ものづくり，自然，学術，宗教，おもてなしを体現する我が国を代表する都市であることから，公式戦開催が実現すれば，日本文化の真髄を全世界に発信する絶好の機会となります。

▶ 関西ワールドマスタースターズゲームズ2021成功に向け，準備段階からの財政支援を

また，2021年に開催予定の関西ワールドマスタースターズゲームズは，関西の広い地域を対象に，30歳以上なら誰でも参加できる生涯スポーツの国際競技大会です。我が国が超高齢社会を迎えようとしている今日，この大会を開催することは，生涯スポーツの普及と振興に加え，日本の文化の発信と国際交流の促進など，関西地域のみならずスポーツ立国を目指す我が国にとって大きな意義があると考えていますが，限られた事業収入の中で大会を成功に導くためには，準備段階から大会運営に至るまでの必要な財政支援や税制上の優遇措置が不可欠であります。

▶ スポーツ振興及び防災の観点による広域的な大規模スポーツ施設の充実のための財政支援を

さらに，スポーツへの関心が高まっている今日において，スポーツは，地域住民の交流や絆を強める原動力を持ち，青少年の豊かな人間性の育成にも寄与するなど，その役割は大きな広がりを見せているところであり，地域に根差した広域的な大規模スポーツ施設を充実することが，災害時の広域防災拠点としての位置づけからも，早期に必要なと考えます。

つきましては，スポーツを通じて，関西，そして日本を元気にするため，次のとおり求めます。

提案・要望事項

- 1 ラグビーワールドカップ2019公式戦の京都市開催の実現
- 2 関西ワールドマスタースターズゲームズ2021への準備段階からの国等の財政支援及び税制上の優遇措置
- 3 広域的な大規模スポーツ施設である西京極総合運動公園，横大路運動公園の再整備の着実な推進のための財政支援

所管の省庁課：文部科学省（スポーツ・青少年局競技スポーツ課国際スポーツ室，スポーツ振興課），

観光庁（スポーツ観光推進室），国土交通省（都市局公園緑地・景観課，市街地整備課）

京都市の担当課：文化市民局市民スポーツ振興室スポーツ企画課長 平松謙一 TEL 075-366-0168

ラグビーワールドカップ2019

概要

- 開催時期 2019年9月から10月(予定)
- 試合会場 2015年3月決定
- ラグビーワールドカップ2019日本大会成功議員連盟が平成22年に発足し、超党派での大会成功を推進されている。

世界3大スポーツ祭典の一つ!

開催の効果

- 国際メディアを通して開催都市名が全世界に発信されることによる地域経済の活性化
- 世界トップレベルの試合を間近で観戦することによる市民のスポーツ文化の向上
- 京都の魅力を全世界に発信することによる都市格の更なる向上

京都開催のメリット

- 国際観光都市であり、宿泊施設の提供能力が高く、特に国際基準のホテルが数多くある。
- 日本文化の中心地であり、それらの真髄を世界に発信することができる。
- 市内中心部や大阪から試合会場へのアクセスが容易

関西ワールドマスタースゲームズ2021

概要

- 4年に1度開催される生涯スポーツの国際競技大会(参加資格:30歳以上なら誰でも参加可能)
- 第10回記念大会、そしてアジア初開催



大会開催の効果

- ①生涯スポーツの機運醸成 ②日本文化の発信 ③地域活性化
- ④高い経済効果(※140億円と試算)

5万人の参加を目標!

課題

大会の実施に当たっては、最小のコストで最大の効果を得られるよう計画しているが、オリンピック等と異なり、放映権収入も期待できず事業収入には限界がある

総事業費 28億円(予定)⇒参加料収入や国等からの補助等が不可欠!

国における準備段階から大会運営に至るまでの必要な財政支援及び税制上の優遇措置が不可欠!!

広域的な大規模スポーツ施設の再整備

西京極総合運動公園

《再整備の方向性》

各種大規模大会にふさわしい機能・水準の維持、向上を図る。

- ・陸上競技場兼球技場:大型映像装置設置、観客席屋根設置等

《想定事業費》

約19.5億円

横大路運動公園

《再整備の方向性》

災害時の広域防災拠点としての機能付加を含め、準広域・準基幹の運動公園として再整備

- ・硬式野球場新設:スタンドを活用した備蓄倉庫等
- ・多目的グラウンド新設:災害時のヘリポート利用等

《想定事業費》

約19.4億円

再整備の着実な推進のためには、十分な財政支援が必要!!